

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みなてらす		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校の高学年、中学部、高等部の生徒さんを主な対象としている事で、活動の内容を「卒業後の未来を見据えて」について考えた内容を行っている。	〈調理実習、創作活動、作業活動、学習支援、運動・室内ゲーム〉をプログラムし、高校卒業後、生活していくのに必要になっていくスキルを磨く支援を行っている。	今後も継続していき、保護者や本人からの希望も取り入れながら、支援を行っていく。
2	視覚支援の充実	生徒が一目見て自分の当日のプログラムが把握できるようにボードを利用している。	今後も継続し、先の見通しが立ち、安定した事業所での時間が過ごす事ができるように支援していく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所が対象にしている年齢が小学校高学年から高校3年生ということから、利用人数によっては身体の大きな生徒さんたちにとって室内は手狭に感じられるのではないだろうかと思う。	規程の基準を満たしている居室空間ではあるが対象年齢を高く設定している事が要因だと思われる。	利用開始時間や活動内容によって別室を使い、住み分けるなどして一部屋に固まらないように工夫をしている。
2	台風など水害が起きた時に被害を受けやすい。	当事業所の近くに大きな河川があるため、台風や河川の氾濫などが起きた際に影響を直に受けしてしまう。	日ごろから水害に対する意識を向ける事と、生徒との避難や、水害についての学習を増やしていく。
3			